

ほうおんかんしゃ

「報恩感謝」♡ありがとうの心をそだてる♡

人は他人から恩を受けたら「感謝」の気持ちを持ち、そこで人から受けた分の「恩」を返そうと思えます。これはお互いを想う気持ちがあるからこそです。食べ物を生産、収穫、料理してくれる人がいるから食事ができる、友だちがいるから楽しく遊べる等周りの人や物があることに「感謝の心」を持って生活していきたいですね。

普段使っている「いただきます」や「ありがとう」の挨拶には報恩したことに感謝するという意味があります。



健康な心と身体の基本作りは食事から！

暑い日が続いていますね。今年は新型コロナウイルスが5類に移行になり、生活の変化が大きかったように思います。コロナ禍ではマスク着用や基本的な感染対策を行うことで季節性のインフルエンザもほとんど流行することがありませんでしたが、ここ数年で免疫が落ちてしまった中で生活の変化は季節を問わず、いろいろな感染症が全国的に流行する状態となった要因のひとつです。

その中でも、保護者の皆様には子どもたちの健康や集団生活を守る為に、症状のある際にはかかりつけ医での早めの受診や家庭での十分な休息、情報の提供等ご協力を頂き、ありがとうございます。

健康な身体と心を作る為に欠かせないものである食事ですが、厳しい暑さや疲れから給食やおやつの様子を見ると食欲の落ちている子どもも多いように感じます。また、夏場は素麺や冷麺などの食べやすいものを食べる機会が多くなり食事内容、栄養が偏りがちです。たくさんの食品から栄養を取ろうとすると、どうしても量をたくさん取らないとと感じてしまいがちですが食事は1日3回(間食も含めれば4~5回程度になります)、毎日摂るものなので一度の食事で栄養バランスをと考えるのではなく前後の日の食事内容に配慮をする、食べやすいメニューに少しずつ食品を取り入れる等から初めてみると食べられる量の少ない小さな子どもたちは良いです。

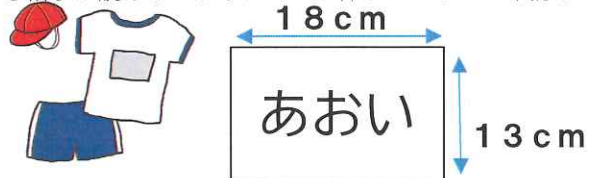
普段の食事では、どのようなものを食べているのか改めて見てみると不足しがちな食品や栄養について気づくことができます。別紙で、「低栄養予防のために、色々な食品をおいしく食べよう！毎日食べたい10品目チェック表」(浜田市医療対策課)を添付しておりますので、ご覧ください。(お忙しいことと思いますが、食欲低下や体重減少等がある場合には園からチェック表をお渡ししますので是非ご活用下さい。)

●毎日食べたい10品目とは・・・

- 肉類・魚介類・卵(卵製品)・牛乳(乳製品)・大豆(大豆製品)・海藻類・いも類・果物・油脂類・緑黄色野菜
- ※主食、淡色野菜も一緒に食べましょう。

運動会に向けての練習も少しずつ始まります。帽子や体操服のチェックをして頂き、準備をお願いします！

- さくら、きく、ちゅうりっぷ、ばら組は白い布に名前を大きく書いて、体操シャツの胸と背中に縫い付けます。
- すみれ・ゆり組は身体に合ったサイズのTシャツに白い布に名前を書いて縫い付けましょう。
- ※四つ角を縫うだけでは、外れてしまうことや手が引っかかって危険なこともありますので、周りをずっと縫って下さい。
- 帽子が脱げないようにゴムが伸びていないか確認して、必要な場合はゴムの付け替えをして下さい。



体操服に付ける布の目安ですので、参考にして下さい。伸びたゴムや名前がないことが気になる子どもさんもおられますので子どもたちが気持ちよく活動できるようご協力よろしくお願いします。



お知らせ

まだまだ暑い時期ですので、特にきく・ちゅうりっぷ、ばら組は涼しい時間から活動することができるよう登園時間の8時45分までには登園するようご協力をお願いします。また、登園時間が遅れる場合や欠席の場合にも必ず園に連絡を入れて頂きますよう宜しくお願い致します。

さくら組から運動会で体操服の着用をします。後日体操服の注文用紙を配布しますので、締め切りまでに担任に提出して下さい。



11名のお友だちのお祝いをしました。自己紹介や大きくなったらなりたいものを教えてくれました。お楽しみは、中川先生、濱田先生がクイズをしてくれ、中から出てきたやだもとと一緒におばけなんてないさの歌を歌いました。

お知らせ

●9月20日、21日に浜田二中、弥栄中学の生徒が職場体験を行います。

保育・福祉分野に興味関心のある生徒が将来に期待を持つことができるように受け入れをしています。ご迷惑をおかけする場面もあるかとは思いますがよろしくお願ひいたします。



小学校との連携について

今年もおおい保育園の運動会は原井小学校の体育館をお借りして開催する予定です。9月に入ってからは小学校での練習も何日か計画をしています。兄弟がいれば参観日や送迎等で小学校に行く機会のある子どももいるかもしれませんが、年長児だけに限らず小学校の中へ入って、生徒や先生、学校の雰囲気を見て感じる機会を持つことはとても貴重な経験だと思っています。去年の運動会練習の際には休み時間に卒園児が声をかけてくれたり、子どもたちに手を振ってくれる姿もありました。また、学校の先生方が子どもたちの練習の様子を見て「子どもたちこんなこともできてすごいですね」と園児の様子を見て声をかけて下さいました。

また先日は、小学校から来園があり、1年生の様子をお聞きしたところ生活面(着替えや給食の準備や食べ方等)の定着が早く、自信を持って生活できていると話されました。保育園での食育や生活習慣で身についた力が就学後もきちんと実っていることを嬉しく感じました。

幼児教育施設と小学校教育では異なることも多いですが、子どもたちが園生活や遊びの中で何を学び、どのように成長してきたのかというところを見て頂ける機会を大切にしていきたいと思います。

校区の異なる園児もいますが、学校が異なっても、ついこの間まで園と一緒に生活していた1年生(その年よりもっと前の卒園児も含め)の登下校や校外学習に出かける様子を見かけるといった何気ない一コマの中でも小学生のイキイキと生活している様子を見ることができ、「小学校って楽しそう」と思えるこの環境を大切にしながら子どもたちの小学校への期待や地域交流に繋がるようにしていきたいと思ひます。